

# 令和元年度第1回今金町地域公共交通確保維持改善協議会 議事要旨

日 時：令和元年6月19日（水） 午後2時30分～午後3時30分

場 所：今金消防署 2階会議室

出席委員：外崎会長、加藤委員、經亀委員（西村氏同席）、東野委員、西川委員、松本委員（岸田氏、河島氏同席）、田中委員、仁木委員、小池委員、水野氏（大岩委員代理）

欠席委員：辻委員、藤川委員、鈴木委員、水上委員

事務局：まちづくり推進課 寺崎課長、早坂補佐、植村主事、平尾主事補

## 1. 委員紹介

## 2. 外崎会長挨拶

新しい元号となり第1回目の協議会となります。今回は委嘱替えということで各団体より推薦いただき、委嘱をさせていただきました。

本町の交通の根幹は瀬棚線であります。瀬棚線を維持し地域の足を確保するため、本協議会において協議し、瀬棚線に接続するフィーダ一路線として各地区の運行を進めてきたところです。その中で市街地の交通についても課題があり、昨年度調査を実施し今年度本格運行を開始する運びとなりました。最近ではその他の地区についての検討も議会より要望が出ているところであり、本協議会においても今後議論する必要があると考えておりますので、委員の皆様におかれましては、それぞれの立場からご意見・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 3. 議 事

### 議案第1号 協議会役員を選出について

今金町地域公共交通確保維持改善協議会規約第6条及び第7条並びに第8条により役員を選出する。

会 長：外崎秀人

副会長：辻 紀英

監 事：藤川治喜

監 事：加藤秀明

### 議案第2号 地域内フィーダ一系統確保維持計画の認定申請について

地域内フィーダ一系統確保維持費国庫補助金に申請については、協議会において地域内フィーダ一系統確保維持計画の策定が必要であるため、次年度（令和元年10月から令和2年9月まで）の計画について協議する。

前年度より大きな変更はないが、項目2については近年の実績をもとに目標を設定。平成29年度より利用実績が減少傾向にあることから、最も利用の多かった平成28年度を基準とし、同等以上の利用実績を目標とする。

(外崎会長)

計画の原案をもとに指導機関と調整させていただきながら申請してまいりたいと思いますが、指導機関である函館運輸支局よりご意見等ございますか。

(函館運輸支局 西村氏)

10月に消費税増税が予定されております。現在地域内フィーダー系統の運賃については1回200円と協議会において設定しているところですが、税込運賃は変更せず、税抜運賃を値下げしたうえで増税分を転嫁することによろしいか協議いただきたい。

(外崎会長)

運賃については、フィーダー系統の運行にあたって地区住民の声を聞きながら協議を進め設定したものであります。また、これから運行開始する市街地予約バスについても同額で設定しており、混乱を招かないためにも変更せずを実施したいと考えますがよろしいでしょうか。

委員より意義なし。

### 議案第3号 市街地予約バス本格運行について

昨年度実施した実証調査及び聞き取り調査により、早期本格運行を望む声があり住民ニーズが高いことから、平成30年度第4回協議会において、当初10月運行開始予定であったところ次期を早め7月開始とすることで決定した。

決定のとおり、7月開始として準備を進めているところであるが、本格運行に際し最終確認を行う。

#### 【運行の概要】

名称 予約バス「まちなかルンるん号」

開始日 令和元年7月1日(月)

運行日 月曜日～土曜日(日曜日、祝日は運休)

時間

1便	10:30～11:00
2便	11:00～11:30
3便	11:30～12:00
4便	12:00～12:30
5便	13:50～14:20

運賃 1人1回(片道)200円

エリア 市街地17町内会及びトマンケン自治会の一部

利用方法 前日の午後5時まで、または乗車したい便の30分前までに予約

(田中委員)

市街地外から来た方が利用する際に利用方法や時間がわからないということもあるので、周知の際には丁寧な説明をお願いしたいと思います。

(小池委員)

地区から出てきて町中で移動する際どうしても高額になっていたのも、これが始まるととても便利と感じます。

(外崎会長)

私の方でもお茶懇で各地区を回る際に周知してまいりたいと思います。まずは一度利用していただくことが大事ですので、運行しながら反応を見て改善していければと考えております。委員の皆様も利用者からの声が聞くことがあれば次回の協議会においてご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

## 議案第4号 令和元年度事業計画（案）について

主な事業予定

6月 第1回今金町地域公共交通確保維持改善協議会の開催

7月 市街地予約バス本格運行開始

12月～1月 第2回今金町地域公共交通確保維持改善協議会の開催  
(地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価実施)

3月 第3回今金町地域公共交通確保維持改善協議会の開催

議案各号については、議案及び上記の内容で承認いただきました。

## 4. その他

### ○事務局より

会長の挨拶でもありましたが、6月13日開催の議会においてデマンドバスの更なる地区の拡大について2人の議員より質問がありました。内容については、更に地区を拡大することにより高齢者の免許返納にも繋がるのではないかと趣旨です。

デマンドバスについては国庫補助金を活用しており、あくまでも幹線バスの枝路線としての運行のため、瀬棚線と重複しないように運行エリアを設定してきたところであります。

現在町では保健福祉課所管の患者輸送バスと教育委員会所管のスクールバス等があり、今後の運行のあり方について更に改善できる部分がないか関係各課で協議をする予定でございます。その内容は本協議会においてもお話をさせていただきますので、またご意見等いただきますようお願いいたします。

### (外崎会長)

神丘地区を例に挙げると、エリアで見ると幹線バスと重複する部分がありますが、縦に広い地区のため国道のバス停から遠い家からではそのバス停まで歩く、あるいは自転車等で行くというのは現実的に厳しいところでもあります。デマンドバスを運行できれば良いのですが、フィーダー系統と地域間幹線のエリア重複のラインはどこなのかなど疑問もあります。どこか同じような悩みを抱えている地域はないでしょうか。

### (經亀委員)

地域間幹線系統と競合するところはどこまでなのかということですが、基本的には決まりはなく、地域によって歩ける距離などが違うため、一概にバス停から何百メートル等定めることはできず、その地域によって変わってくるかと思います。運行するエリアの地区名が同じというだけで必ずしも重複すると判断されるわけではないと思いますが、地域内フィーダー系統は地域間幹線系統にいかに乗車してもらうかということをもその目的としておりますので、瀬棚線の重要性を考えながら検討していただければと思います。

### (外崎会長)

瀬棚線の乗車率を下げることになってはいけないというのは、フィーダー系統を運行する上で前提としてももちろん考えているところでもあります。それを念頭に置きながら地域の声を聞き、新たな道筋を探ることが必要だと思います。

前段事務局から説明がありましたように、役場内でも関係各課で協議し調整を図りながら検討してまいりたいと思います。

### ○松本委員（東ハイヤー）より

デマンドバスの運行につきましては、何よりも安全安心で管理がしっかりしていることが大切であると考えております。ルンるん号の運行当初は運行管理者2名と補助者2名でありましたが、現在は運行管理者3名と補助者4名で対応しており、全員が安全意識を持って運行しています。予約時の電話対応についても重要であると思います。制度的にどうしても説明が難しい部分もありますが、とにかく丁寧に笑顔で接するよう徹底したいと思います。

また、数年前協議会からご支援いただきUD車両を導入したり、運輸支局さんから貨客混載のお話もいただいているところです。今金町内には買物等の際の移動に困っている独居老人の方も多くいらっしゃると思いますので、福祉サービスを担っている方々と相談しながら、このデマンドバスの利便性を向上させるような取組をしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

以上